港区立障害保健福祉センター放課後等デイサービス　支援プログラム

作成日　令和７年３月更新

法人理念	共に生きる 感じる　・相手の立場に立ちその思いに共感します。情報を敏感に受けとめその本質を理解します。今何が必要であるかその役割を見極めます。 創る　・保利用者の自立を支援しその自己実現を目指します。より良くするために具体的な目標を立てて実践します。判断力と責任感の強い職員を育成します。 つながる　・様々な立場の人と誠実に協働します。専門性を発揮して情報の発信と地域との連携を推進します。・地域社会から信頼を得て、期待される役割を果たします。		
支援方針	・重い障害のある方も、同年代の仲間と同じように豊かな地域生活を送れるように環境配慮をしながらサービス提供をしていきます。 ・家族の思いや不安を受け止めて共に子どもの成長を考えます。常にご家族に寄り添い後方支援を行います。		
営業時間	平日：１３時３０分～１８時　土曜日：９時３０分～１６時　長期休み：９時３０分～１６時　延長預かり（長期休み中）１６時～１８時	送迎有無	有
年間目標	①幅広い障害特性に対する支援体制の確立 ②ライフステージにあわせた支援体制の確立 ③重心児への質の高い医療的ケアと介護技術の提供 ④権利擁護を意識した支援の確立 ⑤リスクマネジメントへの意識的な取り組み		

具体的支援内容

対象	項目		A（低学年・中学年）グループ	B（高学年・中・高生）グループ
	５領域・行動指針目標	健康・生活	ご家族と情報共有をし生活習慣を整えます。 本人の様子をもとに体調にあった活動内容を提供します。	自分で（自発的に）生活リズムや生活習慣を整えられるよう取り組んでいきます。
		運動・感覚	活動の中で、自発的に体を動かす機会を提供します。	できるところは自分の力で行うことができるよう支援していきます。
		認知・行動	風や光など、自然環境の中で刺激の違いを感じ、季節を感じてもらえるよう支援します。	活動の内容などを自分自身で決められるよう話し合いの場を設けます。
		言語・コミュニケーション	わかりやすい声かけや表出をゆっくり待ち、小さいサインをのがさないよう支援します。	自分の意見が言えるように、また表現できるように支援していきます。
		人間関係・社会性	友達同士目線が合い、声が聞こえるよう環境設定や、友達を意識できるような声かけを行い仲間を意識できるよう支援していきます。。	日常生活場面にあったルールを理解することができるよう社会的自立に向けての支援していきます。
	地域支援・地域連携		・積極的にボランティアを受け入れ、色々な人とつながっていけるよう取り組みます。・地域の祭りへの参加、外出・散歩を多く取り入れ、地域社会の中での経験値が広がるよう取り組みます。	
	移行支援		・利用者一人一人の将来を見据え、常に本人の強みを生かせる場を念頭におき支援し、移行に向けて助言していきます。	
	家族支援		・ご家族が相談しやすい環境を作ってい行きます。また、計画相談担当者と連携し、ご家族が安心して生活できるよう後方支援していきます。	
	職員の質の向上		・専門性の高い研修会への参加を継続し、医療的ケアの必要な奈重心児の特性理解と実践を行っていきます。 ・ソーシャルワークの意識をもった専門性の高い職員育成を行っていきます。	

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
年間行事・企画	始まりの会 花見バスドライブ	散歩 季節の制作 バスドライブ	梅雨の制作 室内運動	散歩 外出企画	夏休み企画 バスドライブ 外出企画	散歩 バスドライブ 外出企画	港区民祭り ヒューマンプラザ祭り 外出企画	秋の制作 散歩 バスドライブ 外出企画	冬の制作 イルミネーションドライブ Xmas会	お正月行事 干支の制作	節分行事 バレンタイン調理実習	ひな祭り行事 終わりの会 卒業を祝う会
その他活動	・プール活動　・リトミック ・体育室活動　・運動活動（ボッチャ・エアトランポリン・ペガーボール・ストラックアウト・サーキット等） ・スヌーズレン　・足湯　・畑作業（野菜・花植え） ・デジリハ											